

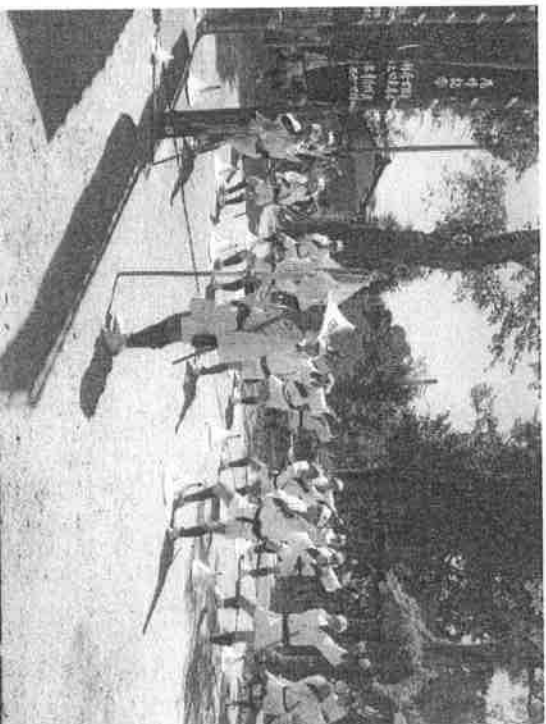
大野下雨乞い奴踊り保存会

おののしちあまこい

やっこおどり

ほんかい

地域文化活動部門



概要

団体名 大野下雨乞い奴踊り保存会

代表者 松村 浩光

会員数 56名

事務局住所 玉名市岱明町大野下411

主な活動地 玉名市岱明町大野下地区

大野下雨乞い奴踊り保存会は、玉名市岱明町大野下地区に約四百年前から伝わる雨乞い踊り「大野下雨乞い奴踊り」の保存・継承を目的に発足した団体です。

「大野下雨乞い奴踊り」は、慶長十二年（一六〇七年）加藤清正によって干拓が行われましたが、度々干ばつに見舞われたため、雨乞いの神事として始まったと伝えられています。毎年七月に、大野下地区の八大竜王神社と大野下八幡宮に奉納され、白法被にわらじ姿で左腰に刀、右腰にひょうたんを下げた侍の姿で踊るもので、かつては雨乞い踊りのために四・五日間籠もり、行列を組んで海へ行き、前を横切ることは戒められていたなど、厳粛な神事とされていました。

戦後は途絶えていましたが、昭和四十一年に保存会により復活し、地元大野下の語るべき民俗芸能を次代へ受け継ぎ、雨乞いを通してみえる先人の想いを今に伝える活動として取り組まれています。

地域の子どもたちに踊りや太鼓の指導を行ったり、子どもたちによる「子ども奴」が踊られるなど、世代を超えて地域の歴史や文化の継承に取り組み、伝統文化の保存と継承に大きく寄与しています。

これまでの活動歴

昭和四十一年	大野下雨乞い奴踊り保存会設立
昭和四十四年	火の国祭りの出演
昭和五十年	第十七回九州地区民俗芸能大会出演
昭和六十三年	県民芸能大会出演
平成三年	熊本県県民民俗芸能大会出演
平成十一年	くまもと未来国体出演
平成十九年	熊本城築城四〇〇年祭出演
平成二十年	玉名市選択無形民俗文化財指定
平成二十一年	柳池川の日環境フェスティバル出演